



2019年2月期 第1四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2018年7月4日

上場会社名 マックスバリュ九州株式会社
 コード番号 3171 URL <http://www.mv-kyushu.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐々木 勉

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理統括部長兼経営管理部
 長 (氏名) 篠崎 岳

TEL 092-433-1228

四半期報告書提出予定日 2018年7月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年2月期第1四半期の業績(2018年3月1日～2018年5月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年2月期第1四半期	43,185	1.3	170		179		5	
2018年2月期第1四半期	42,628	3.8	178		169		121	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年2月期第1四半期	0.72	0.72
2018年2月期第1四半期	16.09	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年2月期第1四半期	37,076	13,412	35.9
2018年2月期	36,113	13,609	37.5

(参考)自己資本 2019年2月期第1四半期 13,324百万円 2018年2月期 13,547百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年2月期		0.00		30.00	30.00
2019年2月期					
2019年2月期(予想)		0.00		30.00	30.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年2月期の業績予想(2018年3月1日～2019年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	89,000	1.9	1,000	67.9	1,000	65.5	400	4.6	52.96
通期	178,000	1.6	2,500	16.5	2,500	15.2	1,000	11.0	132.42

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2019年2月期1Q	7,551,795 株	2018年2月期	7,551,795 株
------------	-------------	----------	-------------

期末自己株式数

2019年2月期1Q	147 株	2018年2月期	147 株
------------	-------	----------	-------

期中平均株式数(四半期累計)

2019年2月期1Q	7,551,648 株	2018年2月期1Q	7,538,127 株
------------	-------------	------------	-------------

期中平均株式数は自己株式を除いております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第1四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期の経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期累計期間における経済環境は、賃金・雇用環境の改善等により引き続き緩やかな景気回復基調にあるものの、海外の政治、経済状況の不確実性や、生活物価の上昇傾向により、生活者の消費購買意欲については、依然として不安定な状況が続いております。

九州における食品小売業界におきましても、ドラッグストアやディスカウントストアの食品販売進出の拡大により競争が激化しております。また、資材価格の高止まり及び賃金の上昇が続いており、当社を取り巻く経営環境はより一層厳しさを増しております。

当社はこのような経営環境のなか、「『すべてはお客さまのために』を原点にベストローカルを実現し、九州におけるスーパーマーケット事業のリーディングカンパニーになる」というビジョンのもと、新規出店及び既存店の活性化を継続実施するとともに、熾烈な競争に打ち勝つ収益構造の改革に取り組んでおります。

当第1四半期累計期間におきましては、事業基盤の拡大の要となる新規出店として、マックスバリュ木花台店(宮崎県宮崎市)を3月8日にオープンしました。また、既存店舗の活性化として3店舗の改装、1店舗の商品マッサージを実施しております。これにより地域のお客さまのニーズに呼応した品揃えや売場に刷新し、生鮮食品を中心に地域・地場商品の拡大やインスタペーカリーの導入等に取り組むと共に、店舗の外装や内装も一新しています。

費用面では、慢性的な人材確保難や賃金の上昇による労務費用の増大、原油価格上昇による水道光熱費の高騰及び新規出店や既存店舗の改装によるイニシャルコストの増加等がありましたが、計画外勤務の低減及び総労働時間の削減に向けた後方業務削減を目的として、自動発注システムの入替えによる発注精度向上や、売上入金機の継続導入等を図ると共に、省エネルギー対策としてLED照明の導入や老朽化した冷凍・冷蔵ケースの入替え等の営繕計画を実行することで、オペレーションコストを積極的に削減しました。

以上の結果、当第1四半期累計期間の業績は、売上高43,185百万円(前年同四半期比101.3%)、営業利益170百万円(前年同四半期は営業損失178百万円)、経常利益179百万円(前年同四半期は経常損失169百万円)となりました。また、減損損失を130百万円計上いたしましたが、四半期純利益は5百万円(前年同四半期は四半期純損失121百万円)と増収増益となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第1四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ963百万円増加し、37,076百万円となりました。

流動資産は、前事業年度末より1,036百万円増加し、17,282百万円となりました。主な要因は、売掛金が514百万円増加したこと等によるものです。

固定資産は、前事業年度末より72百万円減少し、19,794百万円となりました。主な要因は、1店舗の新規出店があったものの、減価償却費及び減損損失の計上等により有形固定資産が102百万円減少したこと等によるものです。

(負債)

当第1四半期会計期間末における負債は、前事業年度末に比べ1,160百万円増加し、23,664百万円となりました。

流動負債は、前事業年度末より1,297百万円増加し、21,429百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金が981百万円増加したこと等によるものです。

固定負債は、前事業年度末より136百万円減少し、2,234百万円となりました。主な要因は、借入金の返済により長期借入金が115百万円減少したこと等によるものです。

(純資産)

当第1四半期会計期間末の純資産は、前事業年度末に比べ197百万円減少し、13,412百万円となりました。主な要因は、配当金の支払により利益剰余金が221百万円減少したこと等によるものです。

(3) 今後の見通し

2019年2月期の第2四半期及び通期の業績予想につきましては、本資料の公表時点において、2018年4月11日の決算短信で公表した業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2018年2月28日)	当第1四半期会計期間 (2018年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,426	8,043
売掛金	1,664	2,179
商品	5,023	4,931
貯蔵品	50	50
その他	2,080	2,076
流動資産合計	16,245	17,282
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,998	7,859
土地	2,880	2,878
その他（純額）	2,290	2,328
有形固定資産合計	13,169	13,066
無形固定資産	27	26
投資その他の資産		
差入保証金	4,580	4,552
その他	2,090	2,148
投資その他の資産合計	6,670	6,701
固定資産合計	19,867	19,794
資産合計	36,113	37,076

(単位：百万円)

	前事業年度 (2018年2月28日)	当第1四半期会計期間 (2018年5月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,045	15,027
1年内返済予定の長期借入金	515	487
未払法人税等	562	172
賞与引当金	212	547
役員業績報酬引当金	26	-
店舗閉鎖損失引当金	36	4
資産除去債務	6	-
その他	4,725	5,190
流動負債合計	20,132	21,429
固定負債		
長期借入金	570	455
資産除去債務	969	977
その他	831	802
固定負債合計	2,371	2,234
負債合計	22,503	23,664
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,604	1,604
資本剰余金	1,449	1,449
利益剰余金	10,293	10,072
自己株式	△0	△0
株主資本合計	13,347	13,126
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	200	198
評価・換算差額等合計	200	198
新株予約権	61	87
純資産合計	13,609	13,412
負債純資産合計	36,113	37,076

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期累計期間 (自 2017年3月1日 至 2017年5月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2018年3月1日 至 2018年5月31日)
売上高	42,628	43,185
売上原価	33,015	33,169
売上総利益	9,613	10,016
その他の営業収入	516	546
営業総利益	10,129	10,563
販売費及び一般管理費	10,307	10,392
営業利益又は営業損失(△)	△178	170
営業外収益		
受取利息	4	4
受取配当金	4	4
受取保険金	6	4
その他	3	4
営業外収益合計	18	17
営業外費用		
支払利息	4	2
その他	4	6
営業外費用合計	9	9
経常利益又は経常損失(△)	△169	179
特別損失		
減損損失	9	130
店舗閉鎖損失引当金繰入額	34	-
特別損失合計	44	130
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△213	48
法人税、住民税及び事業税	△37	101
法人税等調整額	△54	△58
法人税等合計	△92	42
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△121	5

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。